

持続可能な病院・施設経営を目指して 「SDGsフォーラム」を開催します

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



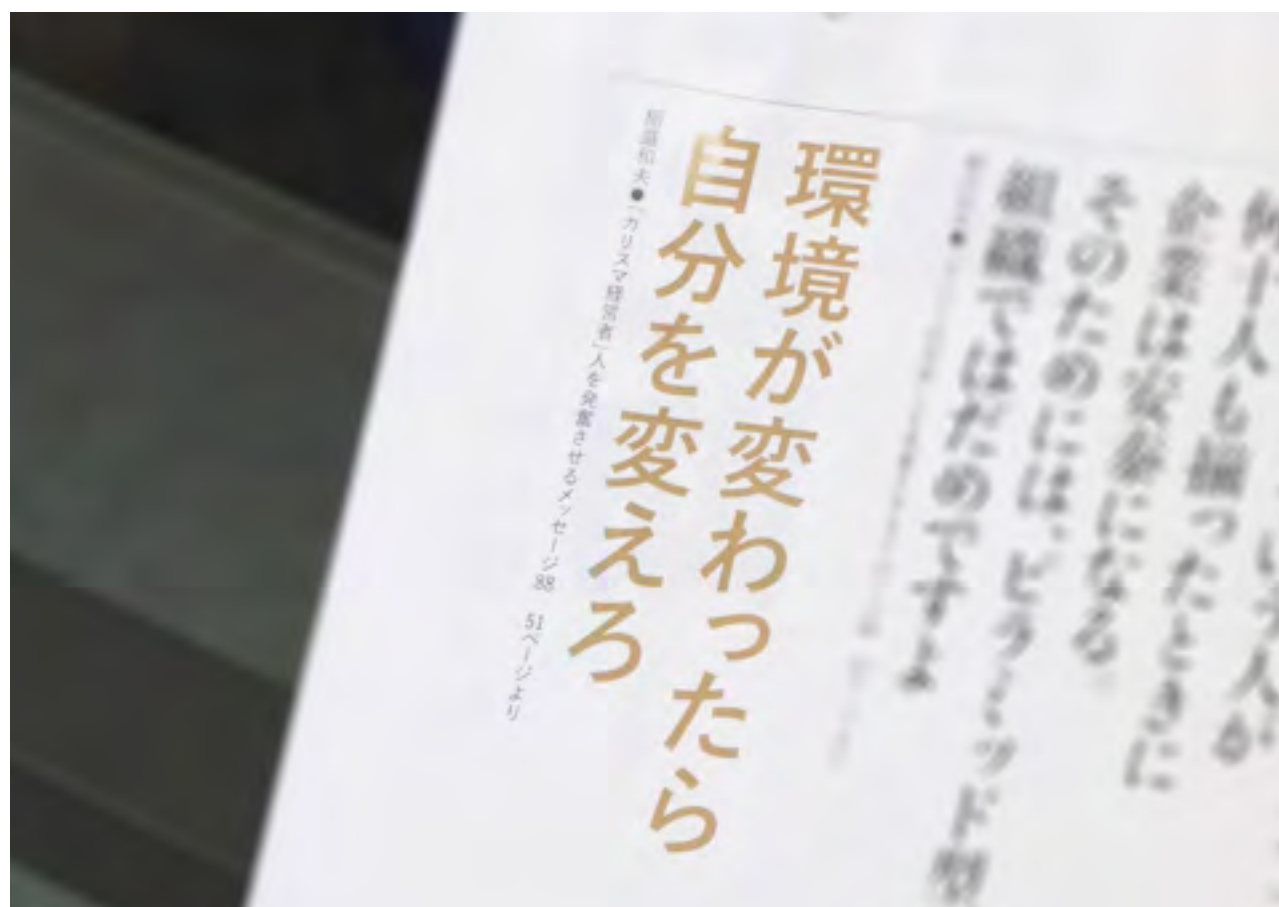
健育会グループでは、地域の環境の変化に対応した持続可能な病院・施設の経営を目指し、全職員参加型の「SDGsフォーラム」を開催します。そこでフォーラムを開催することになった背景と、フォーラムでファシリテーターを務める各病院・施設の職員が参加した研修会の様子をお伝えします。

健育会グループでは様々な社会問題を抱える日本の将来を見据えた上で、グループの病院・施設を持続的に運営していくために、「SDGsフォーラム」を開催する予定です。そこでまずは、フォーラム開催の背景をお伝えします。

私は日本の将来に強い危機感を覚えています。ウクライナ戦争や中国の台湾侵攻など世界情勢は様々な困難に見舞われ、日本国内でも人口減少が続き、各地で過疎が深刻化しています。人口が減少を続ける国に明日はないと言っても過言ではありません。過疎の地に病院・施設を持つ我々としても、冷静に考えてグループ全体が発展していくという楽観的な考えを持つことはできません。



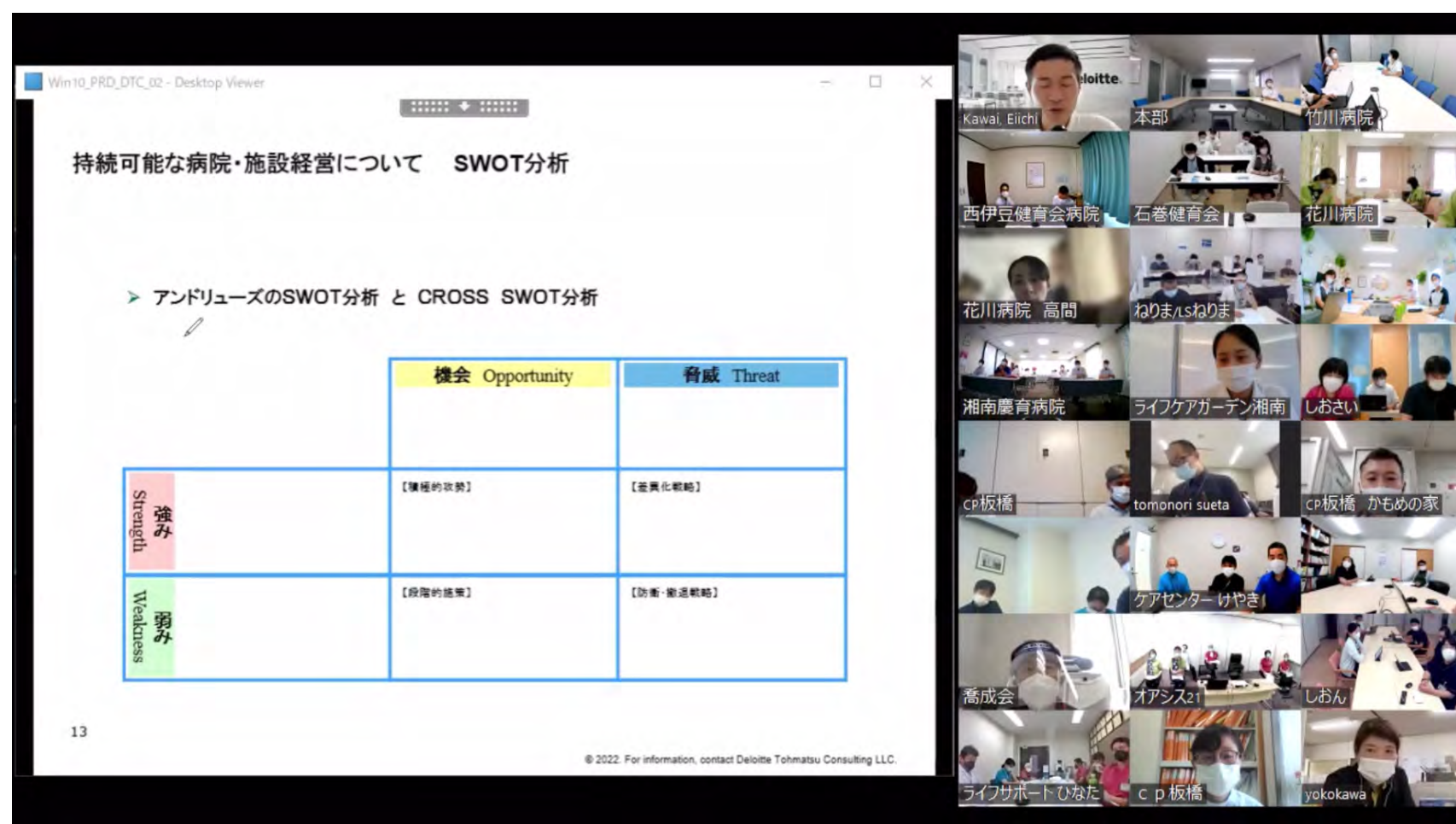
しかし、そうした状況下でもグループ全体の持続的な発展を目指すことを諦めるべきではありません。そのためには一つ一つの病院・施設の将来性を見直し、発展すべきところは発展させ、見込めないところはいかに地域に貢献しながら縮小していくかということを職員全員で考え、形を変えながらも継続していく必要があるのです。先日亡くなられた京セラ創業者の稲盛和夫氏の言葉に「環境が変わったら自分を変えろ」というものがあります。日本という国の環境が変わったから、自分も健育会グループも変わらなくてはならない。そうした発想が、「SDGsフォーラム」開催の原点となっています。



フォーラムは全職員参加型です。管理職をはじめ希望する職員は誰でも参加可能で、各病院施設で自由な意見交換を行います。フォーラムの進行を担当するファシリテーターには、若手のリーダーや将来の幹部候補の方に担っていただきます。また、フォーラムを円滑にすすめるにあたっては、ファシリテーターとしての知識とスキルが必要です。病院理念浸透研修でも講師をお願いしているデロイトトーマツコンサルティング社にファシリテーター向けの研修会をリモート形式で3回実施することにしました。以下は、その第一回目となる研修会の様子です。



初回の研修は、SDGsやSWOT分析についての理解を深めてもらうための講習を実施。SDGsの基本概念からフォーラムの趣旨説明、そして実際に持続可能な病院・施設の経営を目指す際に必要となる、強みや弱み、外部環境を把握して経営方針を決定するSWOT分析についての説明が行われました。



参加した職員たちはファシリテーターとしての新たな技術を習得するべく、熱心に講習を聞きフォーラムの開催に備えました。



今後の予定は以下の通りです。

●9月～10月

各病院施設で「第1回SDGsフォーラム」を開催し、参加者とともに各病院・施設でSWOT分析を実施。その後、9月後半の2回目のファシリテーター研修会では、各病院施設で実施したSWOT分析の結果報告と、病院・施設ごとの経営方針を決定するためのメソッドを紹介します。

各病院施設で「第2回SDGsフォーラム」を開催。10月下旬のファシリテーター最終研修では、今後のアクションについての具体的な計画策定の方法を学んでもらいます。

●11月～12月

各病院施設で「第3回SDGsフォーラム」を開催。今後の具体的な活動や計画を策定。グループ全体としてのフォーラムの統括は12月に行う予定です。

このフォーラムをきっかけとして、グループの職員全員が将来を見据え、利用者さんやご家族、そして病院・施設の外部環境も意識しながら、より柔軟に業務に取り組んでいけるようになることを期待しています。